

生活科学科 生活科学専攻

生活科学専攻では、従来の衣・食・住という生活領域に加え、福祉や心理、あるいは環境全般にわたる基礎的知識を身につけ、地域に貢献できる人材の育成を教育目標としています。

基礎科目

語学基礎 全学共通です。上記「教養教育」参照

専修基礎 (生活科学科共通)

「生活科学概論」は、生活科学科の専任教員がリレー式で講義する科目で、各専門分野を生活科学の観点から概論講義を行います。専攻・コースにかかわらず、生活科学科の学生は生活科学概論を、必ず修得しなければなりません。

専修基礎

生活科学概論

共通科目 全学共通です。上記「教養教育」参照

専修科目

生活基礎(生活科学科共通)

生活科学科は私たちの生活を多面的・総合的にとらえることを目的にした学科です。そのため、生活基礎は、専修科目の中で基礎的な科目と位置付けられており、その中には、衣・食・住という生活科学の根幹をなす科目や、化学、統計学などの自然科学分野、地域政策論、行政学などの社会科学分野の基礎的な科目が配置されています。

生活基礎

住生活論／食生活論／社会学／社会調査論／ヘルスカウンセリング論／化学／数理科学／統計学／日本国憲法Ⅰ／日本国憲法Ⅱ／家族法／地域政策論／行政学／国際関係論／日本経済論／生活経営(生活経済学を含む)／建築史概論／被服学

(生活科学専攻のみ)被服学実習／調理学／調理学実習

専修科目

専修第一分野(生活福祉・心理コース)では、社会福祉関連の科目に関して「社会福祉論」「地域福祉論」など福祉の基幹的な科目のほか、社会福祉士国家試験の指定科目を開講し、社会福祉士を目指す学生を支援しています。心理学関連の科目に関しては、「カウンセリング論」や「人間関係論」など直接的に福祉と関係する科目のほか、心理学を主に学習する学生に向けて、「心理学概論」「心理学研究法」など、心理学の基幹的な科目を配置しています。

専修第二分野(居住環境コース)では居住環境関連科目としては二級建築士受験のために必要な指定科

生活科学科 生活科学専攻のカリキュラムの構成

語学基礎

専修基礎

基礎科目

共通科目

生活基礎

専修第一分野(生活福祉・心理コース)

専修第二分野(居住環境コース)

演習

専修科目

「語学基礎」「共通科目」は、本学の教養教育にあたり、全学共通です。

目のほか、福祉分野との連携を意識した「居住福祉論」や「住生活設計」などが開講されています。また、環境共生について学ぶ「環境政策論」や「環境倫理学」なども開講されています。

演習・基礎演習

2年生になると生活福祉・心理コースでは「福祉心理演習」が、また居住環境コースでは「居住環境特別演習」がはじまります。演習は必修科目で、学生が興味を持った分野の専任教員のゼミに所属し、研究を深めます。生活福祉心理コースでは1年次後半に「福祉心理基礎演習」が開設されます。これは選択科目ですが、この科目を履修していないと2年次の演習を履修できませんので、実質的に必修科目となっています。

専修科目

専修第一分野(生活福祉・心理コース)

福祉心理基礎演習／社会福祉論Ⅰ／社会福祉論Ⅱ／老人福祉論／障害者福祉論／児童福祉論／社会保障論Ⅰ／社会保障論Ⅱ／公的扶助論／地域福祉論Ⅰ／地域福祉論Ⅱ／社会福祉援助技術総論／社会福祉行財政論／医療福祉論／医学知識／介護概論／社会福祉発達史／心理学概論／発達心理学／社会心理学／行動の理論／認知の科学／カウンセリング論／家族関係学／人間関係論／心理学基礎実験／心理学研究法／保育学(実習を含む)／子どもの健康／子どもの栄養／福祉心理特殊講義／福祉心理演習／

専修第二分野(居住環境コース)

インテリアデザイン／建築製図基礎／住生活設計Ⅰ／住生活設計Ⅱ／居住計画論／居住福祉論／居住政策論／居住設備学／建築環境学／建築一般構造／建築計画／建築構法／構造力学Ⅰ／構造力学Ⅱ／建築材料学／建築生産／住環境計画／都市計画論／地域環境学／まちづくり設計Ⅰ／まちづくり設計Ⅱ／力学基礎／消費者法／経済原論／環境経済論／環境政策論／環境倫理学／生態系の科学／環境とエネルギー／環境共生論／居住環境特別演習

卒業に必要な修得単位数

区 分		卒業に必要な最低単位数		注 意 事 項	
基礎科目 (F)	生活科学概論	2		必ず修得しなければなりません。	
	英 語 I 独 語 I 仏 語 I 中 国 語 I	2	1 4	「英語Ⅰ」「独語Ⅰ」「仏語Ⅰ」「中国語Ⅰ」の中から2単位以上を修得しなければなりません。	語学基礎および共通科目群から合計14単位以上を選択履修し修得しなければなりません。
共通科目 (C)	共 通	—			
専修科目 (S)	生 活 基 礎	8		4科目8単位以上を選択履修し修得しなければなりません。	
	専修第一分野	3 6		専修第一分野(生活福祉・心理コース)および専修第二分野(居住環境コース)のいずれか一方の分野より20単位以上修得しなければなりません。	
	専修第二分野				
演 習	4		「福祉心理演習」または「居住環境特別演習」を必ず修得しなければなりません。		
卒業必要単位		6 4		各分野での必要科目数・必要単位数を満たしたうえ、合計で64単位以上を修得しなければなりません。 また、2年次において科目区分を問わず合計20単位以上を修得しなければなりません。	

乗り入れについて

生活科学科では、生活科学科、法経科第2部ともに開設されている科目に限り、卒業まで20単位以内であれば、法経科第2部の講義科目の単位修得が認められています（一部を除く）。これを、「乗り入れ制度」と呼んでいます。この制度を利用することにより、法経科第2部のみで開講されている科目や、他の講義と重なって履修できない科目等を履修し、卒業単位の一部を充足することができます。ただし、担当教員が授業に支障があると判断した場合は、乗り入れを認めないことがあります。

教員免許の取得について

生活科学科生活科学専攻では中学校教諭二種免許（家庭）を取得することができます。そのためには、卒業に必要な単位（64単位）のほかに、教科に関する専門科目や教職に関する専門科目の単位を取得し、教育実習や介護等体験を行うことが必要です。詳しくは、「教育職員免許の取得について」をご覧ください。

社会福祉士国家試験受験資格について

社会福祉士になるためには「社会福祉士国家試験」に合格しなければなりません。その受験資格を得るためには、必要な科目を履修し、かつ、2年間の実務経験（相談業務等）が必要です。生活福祉心理コースでは、「社会福祉士発展科目」において、必要な科目を履修できるようカリキュラムを編成しています。詳しくは「社会福祉士国家試験受験資格について」をご覧ください。

受験資格(実務経験の短縮)の取得について

(財)建築技術教育普及センターの認定する本学指定科目の必要単位を修得すれば卒業時に二級建築士試験受験資格、木造建築士試験受験資格が得られます。また、実務経験4年以上で一級建築士試験受験資格が得られます。

詳しくは「受験資格の取得（実務経験の短縮）について」をご覧ください。